

時間割コード	G2B46113	開講年度	2026				
授業題目	日韓関係ゼミ				担当教員	延 鎮淑	
英文授業名	Japan-South Korea Relations Seminar						
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・2時限	対象学生	全
講義室	共通教育40講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学DP						
	的確に情報を収集し、理解し、発信する力				⇔	・日韓関係史に関する理解が深まる ・国際理解 ・グループワークによりコミュニケーション能力や協調性を養う	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム	グローバルコア人材養成コース ・ B A S I C (国際理解)						
(4)授業の概要	グループワーク中心でおこなわれる授業です。グループに分かれて、日本と韓国の間に起きた出来事や歴史を調べて発表をします。発表を通じて学習をしたうえで学習者同士でディスカッションします。						
(5)授業のキーワード	アジア文化 韓国文化 比較文化 異文化交流 グループワーク						
(6)授業計画	1) ガイダンス 2) 受講者間交流 3) グループワーク：発表テーマを決める・調べる 4) グループワーク：まとめる 5) グループワーク：発表 6) グループワーク：発表 7) グループワーク：発表 8) グループワーク：発表テーマを決める・調べる・まとめる 9) グループワーク：まとめる 10)グループワーク：発表 11 グループワーク：発表 12 グループワーク：発表 13)グループワーク：発表、映画事前学習 14) 映画鑑賞1 15) 映画鑑賞2、授業アンケート（最後の15分で実施） 16) 期末試験						
(7)成績評価の方法	感想シート2割 担当テーマの発表4割 期末試験4割						
(8)成績評価の基準	発表と期末レポートは、 1) 出題（授業）のテーマに沿った内容であり、 2) テーマの背景が説明出来ており、 3) インターネットのみによる資料ではなく、 4) 自分の見解を提示出来ており、 5) 教員を感心させるレベル 1)～5)の5項目を満たしていれば「授業の達成目標の水準から見て卓越している」＜秀＞、 4項目までは「授業の達成目標の水準よりかなり上にある」＜優＞、3項目までは「授業の達成目標の水準よりやや上にある」＜良＞、2項目までは「授業の達成目標の水準にある」＜可＞						
(9)事前事後学習の内容	授業時に指示します。 ※この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	* 「ハングル初級Ⅰ（読解・会話）」、「ハングル初級Ⅰ（文法）」、「ハングル初級Ⅰ（総合）」などど組み合わせると韓国文化を理解するのににより効果的である * 遅刻と認定する時間：授業開始10分後、欠席と認定する時間：授業開始30分後						
(11)質問,相談への対応	1)授業の前後 2)メール：yeonjin@shinshu-u.ac.jp						
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（不可）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場						

(12)授業への出席	合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	必要に応じてプリントを配る
【参考書】	授業時に紹介する